

## 第6回大月市立小中学校適正配置審議会会議録

- 1 日 時 平成18年 2月 3日(金曜日)  
開 会 午後7時00分 閉 会 午後9時00分
- 2 場 所 市民会館4階会議室
- 3 委員の出欠 出席者 天野会長、棚本副会長、杉本委員、佐藤(尚)委員、  
相馬委員、小原委員、三木委員、秋山委員、平井委員、  
小林(功)委員、小林(一)委員、山浦委員、渡辺委員、  
藤巻委員、佐藤(章)委員、小俣委員  
欠席者 萩原委員、石井委員、金子委員、小池委員
- 4 事務局の出欠 出席者 山口教育長、小笠原参事教育次長、坂本学校教育課長  
伊奈学校教育課主幹課長補佐、坂本学校教育課学事担当  
鈴木学校適正化推進担当
- 5 付議事件 (1)シミュレーション(小学校)の検討及び答申(案)骨子  
について  
(2)その他
- 6 議事の概要

### 付議事件

- (1) 報告及びシミュレーション(小学校)の検討及び答申(案)骨子について  
会長よりあいさつが行われ、また、前回会議までの報告と会議録内容の確認及び各委員による大月市の小学校をめぐる状況や将来動向を踏まえた適正規模・適正配置シミュレーション結果の資料に基づき討議を行うとともに、各委員による質疑応答がなされ、今後の適正配置を進めるうえで貴重なご意見をいただいた。また、事務局より答申に向け原案を提示し、次回審議会までに各委員より原案について提言して頂くことになった。
- (2) その他について  
特になし。  
なお、議事内容については、以下のとおりである。

議事 ( 1 ) 第 6 回 審 議 会 の 開 催 に あ た り 、 会 長 か ら あ い さ つ 及 び 前 回 審 議 会 内 容 の 確 認 が 行 わ れ た 。

( 2 ) 事 務 局 か ら 配 布 資 料 が 行 わ れ た 。

( 3 ) 概 ね 、 以 下 の よ う な 質 疑 応 答 が 行 わ れ た 。

会 長 前 回 に 引 き 続 き 小 学 校 の シ ミ ュ レ ー シ ョ ン の ご 意 見 ご 質 問 を お 聞 き 致 し ます 。 特 に 児 童 及 び 生 徒 の 通 学 に つ い て ど う で し ょ う か 。

事 務 局 よ り 児 童 及 び 生 徒 の 通 学 に つ い て の 現 状 、 及 び 、 安 心 ・ 安 全 対 策 の 一 環 と し て 登 下 校 の バ ス 通 学 対 策 の 交 通 方 法 の 素 案 に つ い て 状 況 説 明 を 行 う 。

会 長 通 学 に 関 す る 新 年 度 以 降 の 交 通 方 法 に つ い て の 説 明 で し た 。 そ れ で は 小 学 校 の 資 料 ( 5 校 集 約 案 ) を 基 に 検 討 を し た い と 思 い ます 。

委 員 統 合 し て 生 徒 が 増 加 し た 場 合 、 資 料 に 寄 れ ば 特 別 教 室 等 を 使 用 と の 事 だ が 具 体 的 に は ど う な の か 。

事 務 局 現 在 の 特 別 活 動 教 室 等 を 使 用 し 対 応 し た い 。

会 長 資 料 の 1 と 2 に つ い て は ど う で し ょ う か 。

事 務 局 よ り 前 回 審 議 会 等 を 考 慮 し な が ら 資 料 に つ い て 説 明 と 確 認 を 行 っ た 。

委 員 新 し い 通 学 方 法 に つ い て 登 下 校 の 通 学 時 間 帯 に よ っ て は 、 路 線 バ ス が 通 ら な い 時 間 帯 が あ る が そ こ の 所 は ど う な る で し ょ う か 。

事 務 局 今 後 、 適 正 化 を 進 め る 中 で 構 築 し て 行 き た い と 考 え て い ます 。

委 員 総 合 的 に バ ラ ン ス を 考 え る と 資 料 の そ の 1 が 良 い と 思 い ます 。

会 長 1 案 の 方 が 良 い の で は と の 事 で す が ど う で し ょ う か 。

委 員 飛 び 地 統 合 は 考 え ら れ ます か 。

事 務 局 現 時 点 で は 考 え な い で 頂 き た い 。

会 長 他 に な に か ご ざ い ます か 。

- 委員 今後適正化を進めて統合していきますと学級数が増えると思います。それに伴いS T加配も増えると予想されますがどうでしょうか。
- 事務局 基本的な考えは、40人以上2学級40人以下が1学級。1学級30人以上は1名の加配になりますのでご理解願いたい。
- 委員 私はその1の案が妥当だと思います。
- 委員 下和田小については、現在猿橋中学校に通学している事がかなり地域で大きいと考えられます。また、通学について安心安全等の確固たる理由付けがないと適正配置は難しいと思います。
- 委員 七保地区の中学校について適正配置する場合、七保中が猿橋中学校に適正配置することの案です。また七保地区の小学校については、耐震性の現七保中校舎を使用することとしています。
- 会長 現状、下和田小は猿橋中へ通学しています。その所が心配とのことですが。
- 委員 新たな通学方法では現在の路線バスでは対応できないと思われるがどうでしょう。
- 事務局 それぞれに適応した新たな方法で対応したいと考えています。
- 委員 小学生が中学校の校舎を使用するとなると、体格等の違いから校舎の改築等が考えられますがどうでしょうか。
- 事務局 多少の改修は必要であると考えられます。今ある中学校の校舎を活用する場合市町村の考えで良いと現段階で関係機関より確認をとってあります。
- 会長 集約する事で学校数も減るので、有る程度財政的にも、改修等に掛けられると考えられます。その1案の意見が多いようですがその所をもう一度検討しながら確認したいと思います。
- 委員 その2案の大月東小16学級について規模が大きい事が気にかかる。
- 委員 適正配置を行う際に、確固たる教育観を持って納得できる説明をしていかないとならないと思います。
- 委員 有る程度、流動的な言い方の答申を作って行ったらどうでしょう。
- 事務局 下和田小の場合、視点を変えて考えていただくと良いと思いますがどうでしょう。

- 委員 猿橋小が再来年新校舎になります。出来れば新しい校舎で学びたいのではないかと。親子の気持ちを考えると複雑な気持ちがします。
- 委員 何れに致しましてもこの答申が出されても、そのままこれが実行されるのではないので、現段階で考えられる事をまとめて行けば良いのではないかと思います。
- 会長 平成20年度以降、何年度までを目標年度と決めた方が宜しいのではないのでしょうか。
- 事務局 目標年度を定めて頂きたいと思います。
- 委員 平成20年度以降でいいのではないかと。
- 委員 1案の平成20年とすると中学校の教室の関係上試案が成り立たなくなると思われます。
- 事務局 中学校の試案で行くと教室の関係から、平成23年度以降の対処になるのかと思います。
- 委員 私の案は平成18度に梁川中と富浜中の統合を視野にいれ、平成25年度を目標に試案してあります。
- 会長 中学校は段階を経て3校案から2校案へ、その上で小学校がその1案になるのかと思われませんが如何ですか。また、統合年度についても一度確認したい。
- 委員 平成20年以降の解釈は平成23年、25年度以降も同じ解釈でよいと思います。
- 事務局 答申としては、何年度を目途にまでを視野に考えていただければより具体的かと思えます。
- 委員 色々な事を勘案すると有る程度、弾力性を持たせなければならぬと思います。
- 会長 目安をつけた方がよいのではないかとのご意見ですがどうでしょう。
- 委員 あまり先に行かない方がよいと思います。平成23年、25年を目標にと言う表現でよいと思います。

- 会 長            それでは、平成20年度以降平成25年度までを目途という事で宜しいでしょうか。
- 委 員            異議なし。
- 会 長            有り難う御座います。それでは、小学校のシミュレーションその1案について更に検討したいと思います。
- 委 員            1案だと下和田小の適正配置をどのように考える事だと思います。
- 会 長            他に新たなご意見がございますか。
- 委 員            学区外等はどこまで認めますか。
- 事務局           教育委員会で内容を精査し判断しています。
- 会 長            それでは、小学校の試案その1、その2案のどちらにするのか決議したいと思いますのですがどうでしょうか。
- 委 員            審議の内容からその1案が多数のように思うので無理に決議を取らなくてもよいのではないのでしょうか。
- 会 長            如何でしょうか。
- 委 員            この案では核となる学校を指定するならば1案は賛成できない。また、強瀬小学校のように児童数が増えている所までも核となる学校へ統合するのは納得出来ないと思います。
- 委 員            試案のなかでは複数校が学区となっているが、今後答申が出て各地域で話し合いが持たれ、それを受けて市町村合併のように離脱していく学校もあるとおもいます。それも仕方がないと思われれます。
- 委 員            審議会では適正配置と同じに適正規模を議論されてきたのですから児童数が増えたからと言う理由では、この審議会は議論されていないと思います。
- 委 員            別の小学校でも児童数が変わらない学校もあり、地域で子供を育てている実情があり統合して、別の学校に適正配置していく答申が正しいと思えないのですが。
- 委 員            多少の批判はあると思われるが、現段階で児童数が変わらない等の理由で判断基準をあげて考えるのは無理があると思われれます。1案でまとめるべきだと思います。

委 員 何ら状況が変わらないのに別の地域に適正配置されるのが理解できない。

事務局 適正配置審議会の基本的な考え方を基に、これからの大月市における将来の学校の適正規模・適正配置を見極め、今後さらに進行するであろう少子化や今まで審議会で話し合われたメリット、デメリット等について答申をして頂いてそれをもって地域で話し合いが行なわれると思います。まず基本線を構築し、今後大月市として如何により良い教育基盤を確立し次代を担う子供たちの教育環境を発展させることだと考えます。

委 員 そのようなことを答申に盛り込んだらどうでしょうか。

会 長 いろんな提言を頂きましたが、小学校については1案をもって決めさせて頂きたいと思います。そして更に、答申案のなかで検討して行く事として、次回からはさまざまな意見をふまえながら答申案について審議していきたいと思いますので宜しくお願いします。

事務局 中学校の集約案の確認をお願いします。

会 長 中学校については3校案から段階をへて2校案になります。時間の関係もありシミュレーションの検討は以上に致します。つぎに次第の答申案の骨子について議題といたします。

事務局より適正規模、適正配置等に関する答申書(案)を各委員に配布し内容等について説明を行った。

会 長 次回はこれに基づいて修正した新しい答申書(案)が出されそれを基に審議を行いたいと思います。

委 員 この際校名も決めたらどうでしょうか。

事務局 答申書の中で一行程度の文章表現をしていきたいと考えています。

会 長 時間が来ました。次回は答申書(案)の準備をして参りたいと考えます。この点を次回審議会で審議したいので宜しくお願いします。

最後に、会長より、次回、日程を平成18年2月24日(金)午後7時より市民会館と決め閉会した。